

# みちしるべ

みずからのために道しるべを置き みずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

## 人になれ 奉仕せよ

聖句：	あなたがたの光を人々のまえに輝かしなさい。	(マタイによる福音書5:16)
保育目標：	0歳児 ・保育者に見守られ、身体を動かす心地よさを感じる。	・秋の自然を感じる。
1歳児	・身体をいっぱい動かして、楽しく遊ぶ。	・秋の自然を感じる。
2歳児	・友達や保育者と一緒に、興味のあることを見つけやってみる。	・秋の自然を楽しむ。
3歳児	・友達と一緒に運動や遊びを楽しむ。	・秋の自然に触れて遊ぶ。
4歳児	・友達と力を合わせてやってみる。	・秋の自然に親しむ。
5歳児	・力を合わせていろいろな活動に意欲的に取り組む。	・秋の自然に親しむ。

厳しい残暑の中、追いかけてこをしたり水遊びをしたりと、9月も子どもたちの健康が守られ過ごすことができました。その中、子ども達が楽しみにしていた「フィールドデイ・夏まつり」は、雨天のため中止となってしまいました。ようやくご家族の皆様とも集うことが出来る日でしたので、とても残念ではありましたが、いつかその時が与えられることを信じて、日常の生活が送れることに感謝と祈りを捧げ、日々を大切に過ごしていきたいです。

ある日、2歳のS君は、お気に入りのピンクのストライダーに乗っている途中、友だちが群がる太鼓橋に興味に移り、ストライダーを置いて遊び初めてしまいました。放置されたストライダーは、いつの間にか年中組のT君の手に……。太鼓橋を降りたS君は「(す)とらいだー、ない」と言い、私と一緒に他のストライダー探しをしました。足が届くのはピンクだけなので、他のものでは納得がいきません。“ピンク”に乗っていた年中組のM君(T君に借りたばかり)を見つけたS君は、私を連れてM君のそばまで行き、何も言えず、黙って私に目で訴えるのでした。そこで、私からM君に、“S君が使っていた”ということだけを伝えました。すると、M君は「だってT君がくれたんだ」と少し困った様子。私はS君にM君の気持ちを伝え、さっき見つけた“青”に乗ることを提案してみました。でも、S君はピンクを見つけて「あお、おっきいよー。」とその場を離れません。……。しばらくして、一緒に遊んでいた年中組のF君が、「え?どうしたの?」と、S君に話しかけてくれました。私が説明をすると、「青を持って来たら交換してあげるよ。」とF君。そしてM君に、『自分の黒を譲るから、ピンクと交換してあげれば』と提案してくれました。すると、M君も笑顔で納得、“ピンク”と交換することができたS君もなんとも言えない嬉しい表情をしていました。

傍にいた私は、どうにか思いをつたえようとする2歳のS君の気持ちに寄り添いたいと思っていたのですが、年中組のM君、F君にとって、この時のストライダーは、共につながる大切な遊具であることが、二人の遊びの様子から見てとれました。ですから、『まだ使ったばかり、きっと貸してもらえないだろう』と思いました。でも、最近沢山話せるようになったS君にとっては、思いを言葉で伝える良い経験になると思い、年中組の2人に問いかけて『応えをゆだねる』ことにしました。すると、F君のアイデアのおかげで、お互いに納得のいく形で応えができました。自分が伝えた気持ちを受けとめてもらったS君の喜びはもちろんのこと、M君にとっても、F君が自分の気持ちを理解してくれたことが嬉しくて気持ちの変化に繋がったのだと思います。S君にとって、成功体験につながったことは嬉しいおまけでした。

園生活では、このような事が日々繰り返して起きています。私たちは、子どもたち同士のやり取りの中で一人ひとりの思いが受けとめられたり、思いを伝えられたりできる経験を沢山してほしいと願っています。そしてその中で、必要な助けを行い、子どもたちに任せる(=見守る)ことを大切にしています。日々、子どもたちとのこのような出会いの中で迷った時に『見守ること』の大切さを改めて子どもたちから教えられています。

乳児主任 星野 陽子